

単語	各級	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
1 有言実行 (ゆうげんじっこう)	北海道	●	「実行」＋「言う」＋「通り」	＜有言実行＞ 組み合わせ ＜無言実行＞ ● 組み合わせ	各班、表現は微妙に違うが、「いう通りにする」が同じ、分かりやすい表現でいい。一言ったことを責任をもってやることなので、 ⇒＜言う＞＋＜きちんと＞＋＜…する・行為・執行＞ ※関東班、東海班の案を採用 あわせて「無言実行」も検討。 ⇒＜シーツ・静かに・黙って＞＋＜けれども（ですが）＞＋＜…する・行為・執行＞
	東北	○	「言う」＋「同じ」＋「行う」		
	関東	●	「言う（口から人差指を前へ）」＋右手だけで「きちんと」＋「する・やる」		
	北信越	●	右手「いう」＋左手「やる」		
	東海	●	言う＋同じ＋行う		
	近畿	●	言う＋通り		
	中国	●	言＋やる		
	四国	保	言う＋ちゃんと（同じの手話を強く表現）		
	九州	●	「言う」＋「裏表」＋「実行する」		
2 明鏡止水 (めいきょうしすい)	北海道	ア	両手で顔を左右方向へ引き離す	● 組み合わせ	今ある手話単語を使いたい。邪念がなく、澄み切って落ち着いた心のことなので、＜落ち着く＞より＜安定＞が合う。 ⇒＜美しいB＞＋＜安定＞
	東北	●	横向き両手を逆に合わせ、少しずつ下げ＋「きれい」		
	関東	●	「気持ち」＋「きれい」＋「静か」		
	北信越	●	右手「黙って」＋左手「平和」		
	東海	●	頭を空っぽ＋落ち着く		
	近畿	●	落ち着く＋きれい		
	中国	●	心＋きれい＋おちついている		
	四国	ア	顔を両掌で撫で、落ちつくの表現		
	九州	●	「きれい」＋「心」		
3 満身創痍 (まんしんそうい)	北海道	ア	胸に右手人差指で「×」の形を描く	● 組み合わせ	9班の案を見ると、具体的な「怪我」の部位を示している班もあるが、今ある手話を使いたい。全身傷だらけの表現に。 ⇒＜体・身柄・五臓六腑・身分・身体＞ ＋＜怪我＞
	東北	●	「怪我」を顔から下体に数回		
	関東	ア	頭から太腿あたりまで両手の人差指を交互に打付ける（傷だらけのイメージ）		
	北信越	◎	怪我＋挑む		
	東海	●	顔のケガ、両手のケガ		
	近畿	●	怪我＋怪我＋怪我		
	中国	△	体＋心のところに傷		
	四国	保	傷の手話を額や体に何度も素早く当てる		
	九州	●	「体」＋「傷つく」		
4 きつねの嫁入り	北海道	①● ②◎	①「太陽」＋「雨」 ②左手「きつね」＋右手「提灯」一緒に前へ出す	＜狐の嫁入り＞ ● 組み合わせ ＜狐火＞ ア アレンジ	多くの班が片手で晴れ、もう一方の手で雨を表しているが、両手で晴れ、雨と表現してもいい ⇒＜晴・陽気B＞＋＜雨（雨がふる）＞ ※九州班の案が一番近い あわせて「狐火」を検討。 ⇒指文字＜キ＞で＜燃える（2014-25）＞の動作（両手）
	東北	●	自分に向けた「キ」を右から左にアーチを描く		
	関東	●	丸めた左手二指を垂直に上げ（太陽が出ている）、その下で右手で「雨」		
	北信越	保	新潟県津川の伝統の表現		
	東海	●	右手で晴れ、左手でポツポツ雨		
	近畿	●	晴れと雨を同時に		
	中国	×			
	四国	ア	①キツネ＋花嫁（角隠し）②左手で日右手で雨		
	九州	○	「晴れ」＋「雨」		
5 マフィン	北海道	●	丸めた右手を曲げた右手の指先を右へ動かす	ア アレンジ	生地を焼いたときに、プーッと膨らむ表現に。 ⇒指先を上に向けたカップ型の左手の内側から右手を少し上げながら膨らませる ※北信越、東海班、近畿班の案を採用
	東北	●	右手「マ」を左手に入れ、それを膨らます		
	関東	◎	左手「C」で「カップ」、その中からすぼめた5指を開きながら右手を上げる（カップからケーキが膨らむイメージ）		
	北信越	◎	箱をふくらむ形		
	東海	◎	すぼんだ左手から、右手で膨らます		
	近畿	◎	カップの上が膨らむ様子		
	中国	●	マ＋マフィンの形		
	四国	◎	左手でカップ＋右手は「マ」＋その手の指先を曲げ左手のカップの上に乗せる		
	九州	◎	「カップ」の上を指文字「ま」で形を表す		
6 ミルフィーユ	北海道	ア	左手「指文字（て）」＋右手「挟む」	● 組み合わせ	各班の表現を見ると「重ねる」、「ケーキ」の表現が多い→中に薄く切ったイチゴなどの果物が入っている表現を入れては？ ⇒＜くだもの＞＋両手を3回ほど交互に上に重ねる＋＜ケーキ＞ ※近畿班、四国班の案を参考
	東北	●	両手3指「ミ」を交互に重ねる		
	関東	◎	両手2指を向い合せ少しずつ上にあげ、左手を残して5指を軽く曲げた右手を上に乗せる（ミルフィーユの層と上のイチゴなどのイメージ）		
	北信越	◎	重ねて食べる		
	東海	◎	左手を水平に置き、右手で指文字「み」を左から右に動かす		
	近畿	ア	ケーキ＋だんだんと重なっている様子		
	中国	×			
	四国	ア	重ねるを繰り返す＋ケーキ		
	九州	○	指文字「み」で重なり合っている様子を表す。		
7 モンブラン	北海道	●	「栗」＋丸めた左手に右手4指を丸める	ア● アレンジとの組み合わせ	9班の案を見ると、「栗」＋「絞る」表現がほとんど→＜シュークリーム＞の絞るの表現→絞りは色々あるが、回すのが代表的。 ⇒＜栗＞＋指先を上に向けたカップ型の左手の中から、右手で絞りを回しながら回し上げる ※北海道班、東北班、関東班、東海班の案を参考
	東北	●	「栗」＋ケーキの様子（左手カップで右手クリーム）		
	関東	○	「栗」＋左手「カップ」の上を開いた右手5指を向け回し上げて指を閉じる（盛り上がったマロンクリームのイメージ）		
	北信越	◎	栗＋網（山の形）		
	東海	◎	栗＋右手をぐるぐる巻いてケーキを表す		
	近畿	ア	ケーキ＋くるくる巻いている様子		
	中国	●	栗＋クリーム		
	四国	ア	栗＋上に乗ったクリームの形		
	九州	●	「栗」＋「ケーキ」		
8 マドレーヌ	北海道	●	丸めた両手2指の指先を合わせる＋「菓子」	ア● アレンジとの組み合わせ	「貝」の形をしたお菓子なので、貝の形と模様を表現。 ⇒＜貝＞を1回＋残した左手の上で右手＜マ＞で貝の形にそって手前に動かす ※東北班、東海班の案を採用参考
	東北	●	「マ」＋ケーキの様子（左掌に右手3指を引く）		
	関東	◎	「貝」＋両手の親指と4指を伸ばして指先を向い合せ、弧を描きながら左右に離す		
	北信越	◎	貝膨らむ		
	東海	◎	左手をへこませ、右手で指文字「み」を前から後ろに引く		
	近畿	ア	お菓子＋ほたての形		
	中国	●	貝		
	四国	◎	左手を握り右手でマドレーヌの模様（線）を引く		
	九州	●	「薄い」＋指文字「ま」		
9 エクレア	北海道	●	「チョコレート（茶色）」＋「四角形」を作る	ア● アレンジとの組み合わせ	シュークリーム、確定しているからそれを参考にできないか？ →細長い形が特徴 →上にチョコレートを塗っているから、その表現も入れる ⇒＜シュークリーム＞の1動作目を横に膨らませ＋左手残して右手でクリームを絞り入れ＋上にチョコをハケで塗るように左右に動かす ※中国班の案を参考
	東北	●	左手で形を作り、右手でチョコのドロリを		
	関東	ア	左手指文字「エ」の4指の上を右手でなでる		
	北信越	◎	1回たむ＋やわらかい		
	東海	ア	シュークリームの流用で、両手を左右に引き、右手でクリームを流す		
	近畿	ア	シュークリームを横長にみせる		
	中国	●	クリーム＋チョコかけ		
	四国	ア	シュークリームのアレンジ形を表現する		
	九州	●	指文字「え」でエクレアの形を表す。		
10 ティラミス	北海道	●	「コーヒー」＋「やわらかい」	◎ 創作手話	すぐ決まった ⇒両手指先を付けて丸をつくり、残した左手の横少し上で粉ふるいでココアパウダーを振りかけるように動かす＋＜ケーキ＞（横→前） ※四国班の案を参考
	東北	●	左手5指、右手3指を交互に前で重ねる		
	関東	◎	左掌の上で、右手の5指を指先下向きで軽く曲げて水平に回す。指先は左掌に付けない		
	北信越	●	指文字「て」を重ねる		
	東海	◎	指文字「T」のあと、そのまま右手を振る		
	近畿	ア	ケーキ＋粉をまぶす		
	中国	×			
	四国	◎	粉を振りかける様子＋ケーキ		
	九州	○	指文字「て」＋「コーヒー」		

11	春一番	冬から春への移行期に、初めて吹く暖かい南よりの強い風。 気象庁では立春から春分までの間に、広い範囲（地方予報区くらい）で初めて吹く、暖かく（やや）強い南よりの風としている。	北海道 ● 「春」 + 「一番」 東北 ○ 「春」 + 「一番」 関東 ア 「春」 + 強い「風」 北信越 ● 初 + 春 東海 ● 春 + 下から強い風 近畿 ● 春 + 一番 中国 ● 春 + 一番 四国 ● 春 + 一番 + 風 九州 ● 「春」 + 「一番」 + 「風」	● 組み合わせ	ほとんどの班が同じような表現 →<風>を付けている班もあるがどうするか？ →なくても用語通りの表現でも通じるだろう。  ⇒<春・暖かい> + <一番> ※北海道、東北班、近畿班、中国班の案を採用
12	木枯らし	晩秋から初冬にかけて吹く、北よりの（やや）強い風。	北海道 ● 「木」 + 落葉（両手） + 「寒い・冬」 東北 ○ 「冬」 + 「一番」 関東 ◎ 開いた両手の指先を小刻みに動かしながら上から下へ（枯葉の散る様子） + 強い「風」 北信越 ◎ 右手「手」を左手「風」を2回回す 東海 ● 冬 + 上から強い風 近畿 ● 冬 + 嵐 中国 × 四国 ◎ 左手1（木） + 上から強く風を吹き下ろす 九州 ア 「木」 + 葉が風で散る様子。	● 組み合わせ	「木枯らし」は落ち葉を吹き上げるような強い風のイメージがある  ⇒枯葉が舞い落ちるように両手指をバラバラしながら動かし + <風>（強く1回） ※関東班の案を採用
13	放射冷却	地表面の熱が放射によって奪われ気温が下がること。	北海道 ● 「放射」 + 「気温」 + 下げる（低い） 東北 ○ 「朝」 + 「気温下がる」 関東 ◎ 掌下向きで水平に置いた左手甲に、開いた右手を上から下ろし指先を付ける。左手を握る。 北信越 ◎ 地面の形を湯気の表現→温度が下がる 東海 ● 放射 + 気温が下がる 近畿 ● 放射 + 冷える 中国 × 四国 ◎ 左手を揺らしながら上にあげる + 右人差し指を立て下げる 九州 ● 「晴れ」 + 「寒い」	<放射> △ ラベル追加 <放射冷却> ● 組み合わせ	まずは、「放射」の表現を確認。 ⇒<かげろう>と同じ  「放射冷却」は、多くの班が気温が下がる表現をしている →「冷却」の手話があるので、それを使いたい。 （<寒い>を縮こませる表現）  ⇒<かげろう・放射> + <冷却> ※四国班の案を参考
14	小雨（がばらつく）	数時間経っても雨量が1mmに達しないくらいの雨。	北海道 ● 「小」 + 「雨」 東北 ○ 「小」 + 「雨」（静かに） 関東 ◎ 指先を上に向けて両手を開いて置く。指先を小刻みに動かしながら同時にゆっくり下す。 北信越 ア 雨を小さく弱く 東海 ● 両手の人差し指で雨を表す 近畿 ● 雨がばらばらとふる様子（単語） 中国 保 雨 四国 保 両人差し指で雨が降る様子 九州 保 「雨」が少量降る様子。	保 保存手話	降り始めのような、ポツポツと降るイメージ。ザーッと降る雨ではないので、人差し指で少量の雨を表したらどうか。  ⇒両手人差し指の先を下に向け交互に位置を少し変えて下ろす ※東海班、近畿班、九州班の案を採用
15	小雨がばらつく	小雨が断続的に降る状態。	北海道 ● 「小」 + 「雨」 + 両手人差し指で交互に上下する 東北 ア 両手人差し指を交互に下に向け下す（数回） 関東 ◎ 上記「小雨」を表し両手を握る。2回繰り返す。 北信越 ア 雨を1本ぽつぽつとする 東海 ● 両手の人差し指で雨を表し、右から左へ動かす 近畿 ● 雨がばらばらとふる様子（動詞） 中国 保 雨 + 雨 + 雨 四国 保 小雨の手話を繰り返す 九州 保 「雨」が少量降る様子。		上の小雨と同じ表現でいいのでは。わざわざ分ける必要はない。  ⇒上の<小雨>にラベル追加 ⇒改めてラベルを整理し、<小雨（がばらつく）>に。
16	まとまった雨（雪）	季節予報で少雨（雪）の状態が続いているときに、一時的にせよその状態が緩和されると期待されるときに用いる。	北海道 ◎ 左手5指を上に向け、右手の指先を下へ下ろす + 「止まる」 東北 ○ 「ほしい」 + 「雨」 関東 ア 柔らかい「雨」が止む。2回繰り返す。 北信越 ア 雨を連続降る 東海 ● 雨の量が上がる 近畿 ア 雨が緩和された様子 中国 × 四国 ア 雨 + 雨が上がる + 雨 九州 ● 「まとめる」 + 「雨」	● 組み合わせ	十分な雨？ 今ある手話を使いたいだろうか？ 「まとまった雨が降るだろう」のように使う場合、言葉通りの表現でもいいのでは？  ⇒<つまり・まとめる> + <雨（雨が降る）> ※九州班の案を採用
17	にわか雨	降水が地域的に散発する一過性の雨。備考「にわか雨」のなかには「一時的に降る雨」という意味が含まれているので、冬期の日本海側において、対流雲が次々と通り、晴れとしゅう雨（雪）が繰り返すような現象に対しては「にわか雨（雪）」は用いない。	北海道 ● 「時」 + 「雨」 「時雨」 東北 ア 両手で少し前後に位置を変え「雨」 関東 ア 強い「雨」が止む。 北信越 ア 雨を流れて + あがる 東海 ● 突然 + 雨 近畿 ア 今まで降っていた雨が止む様子 中国 ● 雨 + 短い 四国 ア 両手で雨 + 雨が上がる 九州 ● 「突然」 + 「雨」	● 組み合わせ	一過性の雨のこと。  ⇒<突然> + <雨（雨が降る）> ※東海班の案を採用
18	通り雨	さっと降って、すぐにやんでしまう雨。驟雨（しゅうう）	北海道 ● 「雨」 + 前に出して「雨」 + 「止まる（あがる）」 東北 ア 両手「雨」を左から右に移動 関東 ● 左から右へ「雲」 + 左手を残し右手で「雨」 北信越 ア 一回だけ雨（強） + あがる 東海 ● 雨を右から左へと動かす 近畿 ア 通り雨の様子 中国 ● 雨 + 止む 四国 ア 雨を 右から左に移動させる 九州 ア 「雨が降る」 + 「雨が上がる」	● 組み合わせ	多くの班が左から右へ表現している →雨が上がる表現を入れている班もあるが、<あがる（雨）>も入れる？  ⇒<雨（雨が降る）>を左から右へ降らせ + その位置で<あがる（雨）> ※中国班の案を参考
19	泥流（でいりゅう）	堆積物重力流の一種で、泥質分が多く礫（れき）質分の少ない流れをいう。土石流との使い分けは明確ではない。火山泥流ともいい、火山体の岩石の一部が噴火時、あるいは後にくずれて斜面に沿って流下するものをいう。雪解け水、地下水、爆発に伴う降雨が土砂と混じて流動性を生じる。熱雲の場合より温度が低い。1888年の磐梯山、1926年の北海道十勝岳の噴火の際に見られた。	北海道 ア 左手の腕に沿って右手を上から下へ動かす 東北 ○ 両手で「泥」 + 「流れる」 関東 ◎ 指先下に向けて両手5指を付けたり離したりして、指先を開きながら前方下に向けて同時に突き出す 北信越 ア 泥を流す 東海 ア 土石流の流用で、「ドロ」を肩から手に流す 近畿 ア 土石流をアレンジして泥が流れる様子 中国 △ 泥 + 流 四国 ◎ ねばねばした様子 + 流れていく様子 九州 ● 「泥」 + 「崖崩れ」	ア アレンジ	「土石流」確定しているので参考にしては？  ⇒左上腕から右手親指と4指を開閉しながらおろし（泥）、途中から掌を左腕に沿って下ろしながら開く（流れ落ちる様子） ※東海班、近畿班の案を採用
20	流木（りゅうぼく）	河川や海に流れ込んだ樹木やその一部、およびそれらが河岸や海岸に漂流物として打ち上げられたものことである。多量に発生する原因として、河川の上流部では、山間部で発生した土砂災害による倒木などが河川に流れ込むことが挙げられる。また、中・下流部では、倒木し川底に堆積していた河畔林が洪水により洗い流されて流木が発生する。海浜部では、希に航行中の貨物船から流出した木材が大量に漂着することもある。	北海道 ● 「木」 + 両手の指先を左へ向け、両手を斜め下へ動かす 東北 ○ 「木」 + 「流れる」 関東 ◎ 「木」 + 左腕を水平に倒し、人差し指を立てた右手をその上に倒す。人差し指を伸ばし小刻みに上下させながら右手を前に離していく 北信越 ア 木を両手に1本流れる 東海 ◎ 木が倒れて転がり、川や海で浮かぶ様子 近畿 ア 木が倒れて流れる様子 中国 △ 木の流れ 四国 ● 木 + 流れていく様子 九州 ● 「木」 + 「崖崩れ」	ア● アレンジとの組み合わせ	「木」がずらっと並ぶ様子で表す？筏に見える →バーベキューの表現みたいに見える →流木が海などに浮かぶと流れ浮いているイメージ →災害時や、浜に打ち上げられら場合などは、その状況に合わせて表せばいい  ⇒<木> + 指先を前に向けた両手人差し指を手首を返しながら右へプカプカと流れるように動かす ※北信越の案を採用

21	衣替え	制服などについては、一般に6月1日と10月1日が「衣替え」の日となっています。これには、古来からの風習や衣類の歴史が大きく関わっています。中国の宮廷で、旧暦の4月1日と10月1日に夏服と冬服を入れ替えていたことから始まった習慣です。日本へは、平安時代頃に伝わり、室町時代から江戸時代にかけて、四季に合わせて式服を替える習慣が定着しました。	北海道	●	<季節>+<服装>+<替える>	○ 合成手話	昔は筆筒の引き出しから入れ替えたけれど・・・今はハンガーにかけたままなど簡単は方法になっている  ⇒左手数詞<四>と右手<着替え> (親指・人差し指を胸につけて)の合成 ※四国班の案を採用
			東北	●	両手で服を掴み+「変わる」		
			関東	ア	「季節」の左手の中指に右手人差指、小指に親指を当てる。+右手で「着替え」		
			北信越	●	<季節>+<服装>+<替える>		
			東海	●	「服」+「変える」		
			近畿	●	服+四季のアレンジ		
			中国	●	4+着かえ		
			四国	○	左で「季節」 右で「着替え」		
			九州	ア	「季節」の右手を一度だけ動かして「替える」		
22	防虫剤	害虫がつくのを防ぐ薬剤。ナフタリン・樟脳(しょうのう)など。	北海道	○	左手<虫>+右手<防ぐ>+<薬>	<防虫剤> <殺虫剤> アレンジとの 組み合わせ	<抗がん剤>確定しているから、参考にできないか。 ⇒左手の<虫>を+右手掌で前に押し出し+<薬> ※北海道班、北信越班、東海班、近畿班の案を採用  あわせて「殺虫剤」も検討。 ⇒左手の<虫>を+右手掌で前方に少し弧を描くように 下に押さえつけ+<薬>
			東北	○	右手で「虫」左手で「防ぐ」倒す		
			関東	保	両手で引出しを開け(家具)、丸めた右手二指を2回前方に置く		
			北信越	○	左手<虫> + 右手<防ぐ> + <薬>		
			東海	●	「虫」+「防ぐ」+「薬」		
			近畿	○	虫+防ぐ+薬		
			中国	●	防止+虫+薬		
			四国	○	右「虫」体に近づけ 左「防ぐ」+「薬」		
			九州	○	「虫」「防ぐ」		
23	埴輪	素焼きの焼き物で、古墳時代に古墳の上に並べて置かれたもので3世紀後半から6世紀後半にかけて作られ、聖域を示すために並べたり、古墳の土が崩れないように置かれたといわれています。紐状にした粘土を積み上げて形を作り、中は空洞になっています。パーツごとにつくって、粘土で貼り付けて作り上げたものもありますが、型を用いたものはありません。円筒埴輪と形象埴輪に二分され、形象埴輪には、家形埴輪、器財埴輪、人物埴輪、動物埴輪などがあり、当時の衣服、髪型、農具や建築様式などを見てとることができます。人型などは領主など、身分が高い人が亡くなった際に中国の兵馬俑のように近親者や家来を生き埋めにする代わりに作られたともいわれています。	北海道	●	<粘土>+<人形>	<古墳> <古墳群> 組み合わせ  <埴輪> 保存手話	まずは、「古墳」「古墳群」の表現を検討。 「古墳」⇒<古い>+<塚>  「古墳群」⇒<古墳>+<残した左手の少し前で位置を変えて><場所>を2回くらい  「埴輪」の形はいろいろなものがあるが、ほとんどの班が同じ案。 →わたしたちの手話の表紙の表現。なじみがある。 ⇒『わたしたちの手話』の表紙イラストの動作(左手指先を左耳に、掌上向きの右手を右腰の前にあてる) ※東北班、近畿班、四国班の案を採用
			東北	◎	埴輪の形(両手と口と目)		
			関東	◎	顔の横で左手指文字「テ」、口を円く開けて体をややそらす+軽く曲げた両手5指の指先を向い合せて下す		
			北信越	●	<粘土>+<人形>		
			東海	●	「赤」+「粘土」+指文字「わ」		
			近畿	◎	私たちの手話の本の表紙にある埴輪の絵から		
			中国	●	見た形 + 形		
			四国	保	右手のひらを耳に 左手は指先下へ(私たちの手話表紙の埴輪)		
			九州	◎	「埴輪」の写像的表現		
24	天皇陵	歴代天皇の陵墓。(全国に112ヶ所)※2019年7月、ユネスコ世界文化遺産に登録された大阪府「百舌鳥・古市古墳群」。その古墳群のなかでも堺市にある「仁徳天皇陵古墳」は日本最大。さらにエジプトのクフ王のピラミッド、中国の秦の始皇帝陵と並び、世界三大墳墓のひとつに数えられています。	北海道	◎	<天皇>+左手に甲を上に向けた右手で山の形を描く	● 組み合わせ	<塚>の手話は確定しているから、それを使おう  ⇒<天皇・天皇陛下>+<塚> ※四国班の案を採用
			東北	●	左手で親指を、右手で山を		
			関東	○	「天皇」+指先右、掌下の左手の上で、右手で「山」		
			北信越	◎	<天皇>+ 左手に甲を上に向けた右手で山の形を描く		
			東海	ア	「天皇」+「墓を流用して、(拝む+丘)」		
			近畿	ア	天皇 + 丸い形の様子から		
			中国	●	天皇 + 山		
			四国	●	「天皇」+「塚」(2014-P21)		
			九州	○	「天皇」「丘」		
25	ピラミッド	1 石や煉瓦(れんが)で造られた四角錐形の建造物。古代エジプトでは王・王妃などの墳墓として前2700~前2500年ごろを中心に建設され、81基が現存。最大のもは、ギザにあるクフ王建造のもので、高さ146メートル。基底の一边が約230メートル、その4稜は東西南北を指す。中南米の古代遺跡では神殿の基壇をなすものが多い。金字塔。 2 「ピラミッド形」の略。「ピラミッド商法」「人口ピラミッド」	北海道	△	<国名手話利用・エジプト>	保 保存手話	9班の案を見ると、ほとんど国名手話「エジプト」の表現(両手で下から三角の形に上げる)だが、左右と前後に下ろす班もあるが、2方向必要か?  ⇒国名手話<エジプト>の動作 (<家>の両手を左右斜めに下ろす)
			東北	◎	両掌を下から上へつける		
			関東	保	両手の掌を斜めに向い合せて置き、上に動かし指先を付ける(ピラミッドの形)		
			北信越	△	<国名手話利用・エジプト>		
			東海	△	三角形を描く		
			近畿	◎	ピラミッドの形を作る		
			中国	●	エジプト + ピラミッドの形		
			四国	●	「エジプト」+ △を作る		
			九州	●	「エジプト」+「△」		
26	墓じまい	墓じまいとは、後継者がいなくなった墓や、遠方でお参りにいけない、などを理由に墓を引越す(改葬する)際に、解体、撤去することをいいます。仏式の場合は、魂抜きなどの供養を行い、遺骨を取り出す作業を行います。その後石材店が墓を撤去し、あとを更地に整えて完了になります。	北海道	○	<墓>+<離れた両手拳から両手甲つけ合わせる>	<墓B> <閉めるD・埋める> 保存手話  <墓じまい> 組み合わせ	まずは「墓」の表現を確認。1動作目の「拝む」は要る? 墓の段々の形の表現も見るが ⇒<墓B> (両手で墓石の形(段々)を表す)  次に、「墓じまい」の「じまい」の表現を確認。→「災害関連標準手話ハンドブック」に<土葬>の表現がある。使えないか? ⇒<閉めるD・埋める> (両手を埋めるように内側に動かし、親指側をつける)  「墓じまい」は組み合わせで。 ⇒<墓B>+<閉めるD・埋める> ※近畿班、九州班の案を採用
			東北	●	「墓」+「閉じる」		
			関東	保	両手で拝む+指先前、掌上で離してそろえた両手を同時に反転させて親指側を付ける(閉じる)		
			北信越	○	<墓>+<離れた両手拳から両手甲つけ合わせる>		
			東海	●	「墓」+地面に仕舞うしぐさ		
			近畿	●	墓 + 閉じる		
			中国	●	墓 + 閉じる		
			四国	●	「墓」+「終わる」を前方に動かす		
			九州	●	「墓」「閉じる」		
27	永代供養	墓地継承者が途絶えたり、または墓地や納骨堂を継承する人がいないことを前提として、寺院が代わりに一定期間、供養を行う契約形態です。永久に供養をしてもらえるわけではなく、契約内容によって、十七回忌~五十回忌までといったように、一定期間の間、寺院や管理者側に経営が続く以上は、墓の面倒を見てもらえます。永代供養は、少子化が顕著になってきた現代社会では、選択する人が増えるなど、ニーズの高いものとなってきました。個別に遺骨を納めるところもあれば、最初から他の人と一緒に収められるという場所もあります。	北海道	●	<寺>+<預かる>+<供養>	● 組み合わせ	様々な事情から、家族に代わってお寺に先祖供養してもらうことなので →「拝む」+「供える」 →「供養」+「任せる」  ⇒<供養B>+<左手を残し、><委任(一任)>
			東北	ア	「拝む」+左手残し、右手で「預ける」		
			関東	◎	前方に向けて「長い」+左手そのまま右手で壁を作りそちらに向けて「任せる」+両手を合わせる		
			北信越	●	<寺>+<預かる>+<供養>		
			東海	●	「継続」+「供養」		
			近畿	●	長く+祈る		
			中国	●	代わり + 契約 + 供養		
			四国	●	「寺」+「任せる」+「供養」(I-P412)		
			九州	×	データが消失しました。		
28	檀家	日本では、遺骨を寺院が管理する墓地へ埋葬することが多く、代々お世話になっている寺院があるという方も多いようです。代々に渡って供養や法要をしてもらっている寺院を菩提寺といい、その菩提寺と関わりのある人のことを檀家と呼びます。檀家はいわばその寺院の会員のようなもので、墓地を利用し、法要をしてもらえる権利を持っています。	北海道	●	<墓>+<家>	<菩提寺> 組み合わせ  <檀家> アレンジ	まずは「菩提寺」の表現を検討。先祖代々の墓があるお寺のこと。「かかりつけ」のような意味合いがある。 ⇒<かかりつけ>+<寺>  「檀家」はお布施をしてお寺の財政を支えるイメージがある。 ⇒<少し上方で><寺B>(人差し指)+その下で<家> ※北信越班、東海班、四国班の案を参考
			東北	ア	「寺」+ 左手残し、右掌を下向きに右移動		
			関東	●	「寺」+「助ける」+「家」並べて2回		
			北信越	●	<墓>+<家>		
			東海	●	胸の上で「寺」その下に「家々」		
			近畿	ア	寺 + まわりを家族のアレンジで		
			中国	●	仏壇 + 家 か 寺 + 会員		
			四国	○	「寺」の左手を残したままその下に「家」「家」		
			九州	●	「寺」「皆さん」		
29	有志	ある物事に関心を持ち、かかわろうとする意志のあること。また、その人。(例:有志を募る)	北海道	●	<意志>+<絆>	<有志> 合成手話  <一同> ラベルの追加  <有志一同> 組み合わせ	同じ意思・意志を持つ、ということと前向きなイメージを合わせた表現にできないか? ⇒<積極>+<効果>の合成 ※北信越班の案を採用  あわせて「一同」「有志一同」を検討。 「一同」 ⇒<一律>+<一同> 「有志一同」 ⇒<有志>+<一律・一同>
			東北	●	「思う」+ 両手「同じ」で円を描く		
			関東	●	「積極的」+「集まる」		
			北信越	●	<意志>+<絆>		
			東海	●	「積極的」+「人々」		
			近畿	●	人差し指 + 集まる		
			中国	●	心 + 目的		
			四国	●	「意志」(I-P10)の左手残したまま「同じ」を回す		
			九州	●	「気持ち」「持つ」		
30	ママ友	公園や遊び場、保育園や幼稚園などで子供を通じて知り合った母親同士の付き合い。また、その間柄。ママ友の間では様々なトラブルが発生しており、それがママ友地獄などと呼ばれていることがある。	北海道	●	<母>+<友達>	● 組み合わせ	ほとんどの班が同じ表現案 →「友だち」「仲がいい」「仲間」は微妙に表現が違うが、「友だち」がいい?  ⇒<母・ママ>+<友だち>(握るだけ)
			東北	●	「ママ」+「友達」		
			関東	●	「母」+「友だち」		
			北信越	●	<母>+<友達>		
			東海	●	「母」+「友達」		
			近畿	●	母 + 友達		
			中国	●	ママ + 友達		
			四国	●	両手で同時に「母」→「友達」		
			九州	●	「母親」「友達」		

31	井戸端会議	井戸端などで、近所の女たちが水くみや洗濯などをしながら、人のうわさや世間話をするをからかっていった語。転じて、主婦たちが家事の合間に集まってのおしゃべり。(例:井戸端会議に花を咲かす)	北海道	◎	<世間>+<話す>	○ 合成手話	「ささやく」の表現を回すのはどうか。 ⇒<ささやく>と<会議>の合成、<ささやく>表示しながら水平に回す ※北信越班の案を採用
			東北	ア	両手「イ」を向かい合わせ、残りの指で「おしゃべり」		
			関東	◎	やや左で「集まる」+両手指先を向い合せて水平に円を描きながら離したり付けたりを繰り返す。		
			北信越	◎	<世間>+<話す>		
			東海	●	「ついでに」+「おしゃべり」		
			近畿	○	井 + おしゃべり		
			中国		おしゃべり		
			四国	ア	小さい動きで「お喋りをする」		
			九州	●	「女性」「集まる」「話す」		
32	デトックス	体内の有毒物・老廃物を排出すること。健康法の一つとして、健康補助食品や食事法、運動法、入浴法などが紹介されている。	北海道	○	<体>+<滋養>	ア アレンジ	体内の老廃物が出ていくイメージ ⇒両腹あたりで<下痢>の右手の動作を左右斜め下に(2回表す) ※中国班の案を参考
			東北	●	お腹をさすり + 「きれい・スッキリ」		
			関東	◎	垂直に立てた左掌に右手の5指をつぼめて付け前を出す。左掌に掌前に向けた右手人差指側を付け前へ押し出す		
			北信越	○	<体>+<滋養>		
			東海		「毒」+「除く」		
			近畿	ア	きたない + きれいにする		
			中国	●	体 + 捨てる		
			四国	◎	左掌体の前に、その内側を右手で払う		
			九州	●	「体」「きれい」		
33	育毛	毛髪を成長させること、毛を育てることです。薄毛や細い髪を豊かな髪にすること。「育毛剤」や「育毛マッサージ」などの語で用いられます。	北海道	◎	<毛>+<増える>	◎ 創作手話	9班の案を見ると、「育てる」の表現が多い →「頭」+「栄養」+「かける」のはどうか。 →「育」をどう表現するか。 ⇒指を閉じた両手をこめかみ横で向き合わせ、指を広げながら上げる
			東北	●	髪の毛を差し、液体を頭にかける仕草		
			関東	ア	小指下側で丸めた左手の中から右手3指を出し、そのままの左手に右手指先を数度近づける		
			北信越	◎	<毛>+<増える>		
			東海	●	指文字「け」+「育てる」		
			近畿	ア	①育毛剤を頭にかける様子②①に毛がのびる様子		
			中国	●	頭 + かける		
			四国	◎	頭に「ケ」→「ケ」+「育てる」		
			九州	○	左手指文字「け」 右手「育てる」		
34	アナフィラキシーショック	【アナフィラキシー】 アレルギーなどの侵入により、複数臓器に全身性アレルギー症状が惹起され、生命に危機を与え得る過敏反応 【アナフィラキシーショック】 外部からアレルギーが体内に入ることによって急激に引き起こされる全身性の強いアレルギー反応のためにショック状態になること。ハチに刺されたり、特定の食物を口にしたり、あるいは薬物の投与、ラテックス(ゴム)との接触などが原因となる。	北海道	●	<アレルギー>+ 両手拳を胸に当て撫であげる	● 組み合わせ	ほとんどの班が<ショック>を使っているが、<発作>の方が意味が合う ⇒<アレルギー>+<発作> ※四国班の案を採用
			東北	●	「アレルギー」+「ショック」		
			関東	◎	左手の2指を丸め右手指文字「ア」を弧を描くように入れる + 「ショック(両手)」		
			北信越	●	<アレルギー>+ 両手拳を胸に当て撫であげる		
			東海	●	「アレルギー」+「ショック」		
			近畿	●	アレルギー + ショック		
			中国	●	アレルギー + 色々 + ショック		
			四国	●	「アレルギー」+「ショック」		
			九州	ア	指文字「あ」左手「ショック」		
35	アドバンテージ	<有利・優越の意> ① テニス・卓球で、ジュースのあと1ポイントをリードすること。バンテージ。 ② ラグビー・サッカーなどで、反則行為があっても、罰することで反則を犯した側がかえって有利になると主審が認めた場合、プレーを続行させること。	北海道	×	意味は分かるが、各種の場によって手話表現が異なる	ア アレンジ	9班の案を見ると、指文字「ア」を使っていたり、片手だけを上げる表現がある。 「得」「有利」の手話表現だと意味が異なる。9班の中で参考にできる表現はないか？ ⇒指文字<コ>形の両手を向き合わせ右手を外側に弧を描いて上げる ※近畿班の案を応用
			東北	ア	左手「ア」に右手「アップ・もつと」		
			関東	◎	両手指文字「ア」の指先を向い合せ、右手を上げる		
			北信越	×	意味は分かるが、各種の場によって手話表現が異なる		
			東海	●	両手を水平に、右手の手のひらを上に上げる		
			近畿	◎	止まって 片手だけすむ		
			中国	●	2優先+判断		
			四国	◎	左掌を伏せ、そこから右手「ア」を上へあげる		
			九州	△	「A」 テニスでの表示		
36	スケープゴート	いけにえの山羊の意。贖罪のため山羊に罪を背負わせて野に放ったという故事から。転じて、現在では民衆の不満や怒りの解決のために、代りに攻撃の標的とされてしまう者、集団、国、民族などのことをいいます。ナチスが民衆の不満をユダヤ人への憎悪攻撃に転嫁、解消したのはこの典型的事例。(例:スケープゴートにされる)	北海道	●	<体>+<代わる>+<責任>	● 組み合わせ	身代わり、トカゲのしっぽ切りの意味で使われているが、元のいけにえの山羊」のイメージが強い。「羊」の手話表現を使うかどうか？ ⇒<犠牲B>+<羊> ※近畿班の案を参考
			東北	●	「悪い」+「責任」左手親指に右掌をかぶせる		
			関東	◎	A「批判」をそのまま左へ方向を変える。B両手人差指で同時に自分を指し、そのまま左下へ方向を変える		
			北信越	●	<体>+<代わる>+<責任>		
			東海	◎	左から自分に向かって「攻撃」を右に曲げる		
			近畿	ア	仕方がないのアレンジ(犠牲)		
			中国	●	代わり + 人攻める		
			四国	◎	右手「言われる」→ その手を左手で向きを変える		
			九州	ア	集団から外れる(いけにえ)		
37	ダイバーシティ	多様な人材を積極的に活用しようという考え方のこと。もとは、社会的マイノリティの就業機会拡大を意図して使われることが多かったが、現在は性別や人種の違いに限らず、年齢、性格、学歴、価値観などの多様性を受け入れ、広く人材を活用することで生産性を高めようとするマネジメントについていう。	北海道	●	<社会>+<平等>+<ビジネス>	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<なんでも・万能><いろいろ・多様>が多いが、少し意味が違う人材を広げるイメージに合う表現はないか？ ⇒<人材>+<左右斜め前方に向けた両手を左右斜めに出す> ※北信越班の案を参考
			東北	●	「人権」+「いろいろ」		
			関東	●	「さまざま」+ 指先前方で向い合せた両手を左右に開く		
			北信越	●	<社会>+<平等>+<ビジネス>		
			東海	△	「多様性」に同じ		
			近畿	ア	なんでも+対等		
			中国	●	色々 + 利用		
			四国	△	「多様性」		
			九州	●	「多様性」『選ぶ』		